

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	ビジネス実務 I-1	担当教員	本田 恵
		(実務の経験)	有・無
対象学科・学年 コース	行政事務学科 コース共通	学期・区分	前期・必修
		授業週数	15週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	1単位・15時間
授業の概要	ビジネスマナーの基本を学習する。働くことの意義を考察し、仕事への取り組みについて理解する。言語化を習慣にし、話す・聴く等のコミュニケーション技法を学ぶ。敬語やビジネス用語を身につける。		
到達目標	ビジネス能力検定ジョブパス3級の試験に合格する。社会人として必要なビジネスマナーやスキルを習得する。自分の考えを言語化でき習得したスキルを表現できるようにし、社会生活のための準備をする。		
使用教材等	・ビジネス能力検定ジョブパス3級 公式テキスト・問題集(JMAM) ・参考テキスト:ビジネス能力検定ジョブパス3級 要点と演習(実務出版)		
授業計画			
第1週	・イントロダクション:ジョブパス3級試験の概要 ・グループディスカッション「本物の社会人・公務員とは？」		
第2週	テキスト第1編第1章 キャリアと仕事へのアプローチ		
第3週	テキスト第1編第2章 仕事の基本となる8つの意識		
第4週	テキスト第1編第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本(1)		
第5週	テキスト第1編第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本(2) ・笑顔とお辞儀の仕方演習		
第6週	テキスト第1編第4章 指示の受け方と報告、連絡・相談		
第7週	テキスト第1編第5章 話し方と聞き方のポイント(1)		
第8週	テキスト第1編第5章 話し方と聞き方のポイント(2) ・敬語のテスト ・フリートーク、質問の仕方演習		
第9週	テキスト第1編第6章 来客応対と訪問の基本マナー(1)		
第10週	テキスト第1編第6章 来客応対と訪問の基本マナー(2) ・面接演習(所作、自己紹介)		
第11週	テキスト第1編第7章 会社関係での付き合い ・確認テスト		
第12週	テキスト第2編第1章 仕事への取り組み方		
第13週	テキスト第2編第2章 ビジネス文書の基本(1)		
第14週	テキスト第2編第2章 ビジネス文書の基本(2) ・敬語のテスト		
第15週	前期末試験		
第16週			
成績評価の方法	前期末試験(50%) 授業参加度(グループ討論、発表等を含む)(30%) 確認テスト(20%)		
学生へのメッセージ	2026年2月にCBT方式でジョブパス3級試験を受験します。 本講義演習は社会人として必要なものとなりますので、積極的に学び身につけてください。		

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	公務員リテラシー	担当教員	小林 英二
		(実務の経験)	有・無
対象学科・学年 コース	行政事務学科 コース共通	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	2単位・32時間
授業の概要	公務員とは何か、講義・演習や動画視聴などをもとに公務員に求められる資質を理解し、本物の公務員を目指す心を育てる。		
到達目標	1 公務員と民間企業との違いについて説明することができる。 2 希望する職種の仕事内容について、積極的に調べることができる。 3 話し合いの手法を身につけるとともに自らの考えを表現することができる。		
使用教材等	テキスト(参考資料): 公務員1年目の教科書(学陽書房)、明るい公務員講座(時事通信社)、地方公務員フレッシュアズブック(ぎょうせい) その他: DVD (『252生存者あり エピソード0』『県庁おもてなし課』) など		
授業計画			
第1週	ガイダンス: 学習の進め方を理解する。 DVD (『252生存者あり エピソード0』) を視聴し、公務員として大切なことに気づく。		
第2週	DVD (『県庁おもてなし課』) を視聴し、公務員として大切なことに気づく。		
第3週	事例(地域住民の抱える問題)をもとにグループ学習を行う。		
第4週	事例(地域の活性化)をもとにグループ学習を行う。		
第5週	公務員として大切な心構えを理解する。		
第6週	楽しく仕事をするコツについて理解する。		
第7週	事例(ふさわしい服装)をもとにグループ学習を行う。		
第8週	事例(あいさつ)をもとにグループ学習を行う。		
第9週	作文演習を行う。		
第10週	身につけておきたい7つの習慣(メモ)について理解する。		
第11週	身につけておきたい7つの習慣(5分前の5分前)について理解する。		
第12週	希望職種の仕事内容を調べ理解する。		
第13週	テーマを設定し話し合い活動を行う。		
第14週	テーマを設定し話し合い活動を行う。		
第15週	テーマを設定し話し合い活動を行う。		
第16週	テーマを設定し話し合い活動を行う。		
成績評価の方法	話し合い活動やレポート提出などを授業参加度として100点満点で評価する。		
学生へのメッセージ	①公務員と民間の違いとは何か考えてみよう。 ②自分の目指す職種や自治体の取り組みに関心を持ちましょう。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	自然科学A	担当教員 (実務の経験)	津嶋 朋也 有・無
対象学科・学年 コース	行政事務学科 コース共通	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	2単位・32時間
授業の概要	自然科学(数学・物理・化学・生物・地学)の中から化学・生物・地学を取り扱う。知識系はもちろんだが、特に化学では計算系を重点的に解説していく。講義形式で理論を確認し、演習問題を通じて定着を深めていく。		
到達目標	公務員試験に向けて、実践的な解答能力を身につける。		
使用教材等	「公務員合格セミナー 自然科学 テキスト」(実務教育出版) 「公務員合格セミナー 自然科学 確認ワーク」(実務教育出版) 「公務員合格セミナー 自然科学 演習ブック」(実務教育出版)		
授業計画			
第1週	自然科学分野の概要を解説し、学習方針を確認する。		
第2週	【化学 物質の構成】物質の分類、原子・分子および原子の構造について理解する。		
第3週	【生物 光合成と呼吸】光合成の仕組みと光-光合成曲線のグラフの見方を理解する。呼吸の仕組みを理解する。		
第4週	【化学 元素の周期表】元素の性質について学び、周期表の見方について理解する。		
第5週	【地学 大気、岩石】大気圏の階層構造や、岩石の分類について学習する。		
第6週	【化学 化学結合】化学結合の種類を学び、化学式や組成式の確認をする。		
第7週	【生物 遺伝】遺伝の仕組みとその求め方を理解する。		
第8週	【化学 化学反応と物質量】化学反応式の組み立て方を学び、物質量の計算をする。		
第9週	【地学 天体】地球の自転と公転、太陽系の構造について学習する。		
第10週	【化学 酸と塩基】酸・塩基の定義を理解し、演習する。		
第11週	【生物 刺激と反応】ヒトの神経系について覚え、演習する。		
第12週	【化学 酸化と還元】酸化数などを学び、酸化・還元反応について理解する。		
第13週	【地学 気象】地球規模の気象現象、日本の周りの気象について学習する。		
第14週	【化学 気体の性質】気体の性質、生成方法について理解し、演習する。		
第15週	【生物 ヒトの恒常性】消化、血液の循環、神経系、内分泌系について学習する。		
第16週	期末テスト		
成績評価の方法	期末テスト(60点)、平常点および小テスト(30点)、授業参加度(10点)の100点満点で評価する。		
学生へのメッセージ	演習ブックには直接書き込まず、ノートを使用してください。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	自然科学B	担当教員	津嶋 朋也
		(実務の経験)	有・無
対象学科・学年 コース	行政事務学科 国家初級・地方初級コース	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	2単位・32時間
授業の概要	自然科学(数学・物理・化学・生物・地学)の中から数学と物理を取り扱う。問題は知識系・計算系と大別できるが、ここでは計算系を重点的に解説していく。講義形式で理論を確認し、演習問題を通じて定着を深めていく。		
到達目標	公務員試験に向けて、実践的な解答能力を身につける。		
使用教材等	「公務員合格セミナー 自然科学 テキスト」(実務教育出版) 「公務員合格セミナー 自然科学 確認ワーク」(実務教育出版) 「公務員合格セミナー 自然科学 演習ブック」(実務教育出版)		
授業計画			
第1週	授業の進め方、教材の使い方について確認する。		
第2週	【物理 力、力のモーメント】力の性質を理解しながら力の分解・合成をする。力のモーメントについて学び、演習する。		
第3週	【物理 ばね、浮力】力の具体例として、ばねと浮力を扱う。フックの法則、アルキメデスの原理を確認し、演習する。		
第4週	【数学 方程式と不等式】2次方程式、2次不等式の問題を扱い、素早く正確に解けるように演習する。		
第5週	【数学 関数の最大最小】2次関数を平方完成する手順を学び、最大値と最小値について演習する。		
第6週	【物理 物体の運動】等加速度運動の公式を理解し覚え、演習する。		
第7週	【物理 運動方程式】重力を例に、運動方程式の立式とその解法を理解する。		
第8週	【運動量保存、力学的エネルギー保存】2つの保存則を学び、どのように利用していくのかを理解し、演習する。		
第9週	【電気回路】直流回路の図記号、電流や電圧の概念を学び、オームの法則を利用して解く演習をする。		
第10週	【数学 数列】確実に正答するために、実践的な方法で問題を解く。		
第11週	【物理 電気エネルギー】直流回路に生じる電力・電力量について演習する。		
第12週	【物理 電流と磁界】アンペールの法則、ファラデーの電磁誘導の法則について学び、演習する。		
第13週	【物理 波の性質】波の種類、波の諸量を学び、グラフの見方を理解する。		
第14週	【物理 ドップラー効果、凸レンズ】音のドップラー効果の演習、凸レンズについての問題演習をする。		
第15週	【物理 熱量】比熱を用いた熱量の計算をする。		
第16週	期末テスト		
成績評価の方法	期末テスト(60点)、平常点および小テスト(30点)、授業参加度(10点)の100点満点で評価する。		
学生へのメッセージ	演習ブックには直接書き込まず、ノートを使用してください。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	数的推理	担当教員	小林 英二
		(実務の経験)	有・無
対象学科・学年 コース	行政事務学科 コース共通	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	5単位・80時間
授業の概要	数学の基礎知識をもとにした柔軟な思考、問題解決法を身に付けられるように進めていくとともに、公務員試験の数的推理分野で高得点が取れるようにする。		
到達目標	数的推理の分野、全範囲において数学の基礎知識をもとにした柔軟な思考、問題解決法を身に付ける。		
使用教材等	公務員合格セミナー初級本科一般知能テキスト(実務教育出版) 公務員合格セミナー初級本科一般知能演習ブック(実務教育出版) ケイセンオリジナル教材		
授業計画			
第1週	『数の計算、約数・倍数』の問題を行い、解法を理解する。また、類似問題を行い、解法を復習する。		
第2週	『商と余り、記数法』の問題を行い、解法を理解する。また、類似問題を行い、解法を復習する。		
第3週	『数量関係、覆面算、魔方陣』の問題を行い、解法を理解する。また、類似問題を行い、解法を復習する。		
第4週	『数列、方程式、関数』の問題を行い、解法を理解する。また、類似問題を行い、解法を復習する。		
第5週	『連立方程式、方程式の整数解』の問題を行い、解法を理解する。また、類似問題を行い、解法を復習する。		
第6週	『不等式、時計算、年齢算、平均』の問題を行い、解法を理解する。また、類似問題を行い、解法を復習する。		
第7週	『集合』の問題を行い、解法を理解する。また、類似問題を行い、解法を復習する。		
第8週	『速さ・距離・時間』の問題を行い、解法を理解する。また、類似問題を行い、解法を復習する。		
第9週	『旅人算、流水算、通過算』の問題を行い、解法を理解する。また、類似問題を行い、解法を復習する。		
第10週	『比、割合、濃度』の問題を行い、解法を理解する。また、類似問題を行い、解法を復習する。		
第11週	『百分率、増加率、仕事算』の問題を行い、解法を理解する。また、類似問題を行い、解法を復習する。		
第12週	『給排水算、ニュートン算』の問題を行い、解法を理解する。また、類似問題を行い、解法を復習する。		
第13週	『三角形と面積、立体図形』の問題を行い、解法を理解する。また、類似問題を行い、解法を復習する。		
第14週	『場合の数、順列』の問題を行い、解法を理解する。また、類似問題を行い、解法を復習する。		
第15週	『組合せ』の問題を行い、解法を理解する。また、類似問題を行い、解法を復習する。		
第16週	『確率』の問題を行い、解法を理解する。また、類似問題を行い、解法を復習する。		
成績評価の方法	期末考査(60%)＋平常点(小テスト等を含む30%)＋授業参加度(10%)の100点満点で評価する。		
学生へのメッセージ	授業で解法を理解し、繰り返し復習し、知識を定着できるようにして下さい。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	世界史	担当教員	中田 正則
		(実務の経験)	有・無
対象学科・学年 コース	行政事務学科 コース共通	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	2単位・32時間
授業の概要	グローバル化が進み、公務員として必要な世界史の基礎的知識を習得する。欧米諸国と中国の歴史を中心に流れを捉え、公務員試験に対応できる学力を獲得する。テキスト・資料集で内容を復習したうえで、演習ブックの解答・解説を行う。		
到達目標	公務員試験における世界史分野で確実に得点させ、一次試験合格を実現させる。公務員試験の過去問を中心に、公務員試験の世界史の問題に対応できるようにする。		
使用教材等	公務員合格セミナー初級本科人文科学 テキスト・確認ワーク・演習ブック(実務教育出版) グローバルワイド(第一学習社)		
授業計画			
第1週	ルネサンス・宗教改革・大航海時代 ルネサンスの人文主義思想 宗教改革の理念 大航海時代でヨーロッパの世界進出		
第2週	絶対主義とイギリス革命 ヨーロッパの国家形成と絶対主義の時代のヨーロッパの国家 関係について理解する。イギリス革命の歴史的意義について理解する。		
第3週	市民革命と産業革命 アメリカの独立・フランス革命の歴史的意義 産業革命により、 機械を使った大量生産を可能にしたことおよびその影響		
第4週	ウィーン体制とイタリア・ドイツの統一 ウィーン体制の成立と崩壊 国民国家の成立とイ タリア・ドイツの国家統一がどのような国際関係の中で成立したか		
第5週	ロシアの改革とアメリカの発展 ロシアのツァーリズムの矛盾と改革について理解する。 アメリカの西部開拓と南北戦争について理解する。		
第6週	帝国主義と第一次世界大戦 帝国主義の成立と欧米諸国の植民地争奪戦の結果とし ての第一次世界大戦について理解する。		
第7週	第一次世界大戦後の欧米諸国 欧米諸国の国内事情とアメリカの覇権の成立 世界 恐慌の影響とヴェルサイユ体制の矛盾によるファシズムの成立		
第8週	世界恐慌とファシズムと第二次世界大戦 世界恐慌の影響とヴェルサイユ体制の矛盾 によるファシズムの成立 第二次世界大戦の経過と戦後の世界構想		
第9週	冷戦と第三世界の成立 冷戦の意味と、戦後の世界が米ソを中心にどのような動きをする か理解する。アジア・アフリカ諸国の独立と第三世界の成立を理解する。		
第10週	冷戦の終結と現代世界の多様化 冷戦が終結する過程を理解する。アメリカの一極支 配とその終焉について理解する。		
第11週	中国史(殷・周・春秋戦国・秦・漢) 中国における王朝の成立と封建制・中央集権国家 の成立過程について理解する。		
第12週	中国史(魏晉南北朝時代・隋・唐) 中国における混乱と律令制度に基づく国家の形成 を理解する。		
第13週	中国史(宋・元・明・清) 唐末から中国社会の支配層が変わり新たな大土地所有制度 が成立し、征服王朝の誕生を理解する。		
第14週	中国史(辛亥革命と日本の侵略・中華人民共和国の成立) 清朝が滅び、新たな国家 づくりが始まり、日本の侵略とその後の中華人民共和国の成立を理解する。		
第15週	中国史(文化大革命と経済発展) 共産主義体制の下での国家建設と、文化大革命に よる混乱の後に市場経済の導入による発展を理解する。		
第16週	問題演習 公務員試験に合わせて過去問を解く。		
成績評価 の方法	期末テスト80%・授業態度10%・出席状況10%により100点満点で評価する。		
学生への メッセージ	公務員試験合格のため、世界史の基礎的知識を習得しましょう。 問題のプリントを最低3回繰り返しましょう。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	政治経済	担当教員	星 勉
		(実務の経験)	有・ 無
対象学科・学年 コース	行政事務学科 コース共通	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	4単位・64時間
授業の概要	公務員試験の教養試験において、他の社会系科目の中では比較的問題数が多い。また、時事問題を絡めた出題も増えてきている。そこで、適宜時事問題に触れながら、政治や経済の仕組みについて理解し、自らの考えを持ち表現できるようにする。		
到達目標	1 日本国憲法の内容や政治の仕組みについて説明することができる。 2 経済の仕組みや景気対策について説明することができる。 3 自分の考えを発表することができる。		
使用教材等	テキスト:公務員合格セミナー初級本科社会科学 テキスト・確認ワーク・演習ブック(実務教育出版)、日本国憲法(小学館)		
授業計画			
第1週	ガイダンス:学習の進め方を理解する。 日本国憲法前文の内容を理解する。		
第2週	基本的人権の尊重について理解するとともに出題傾向を把握する。		
第3週	国会の仕事や衆議院の優越について理解するとともに出題傾向を把握する。		
第4週	内閣と裁判所の果たす役割について理解するとともに出題傾向を把握する。		
第5週	地方自治の仕組みや選挙制度について理解するとともに出題傾向を把握する。		
第6週	国際社会の動きと国際連合の果たす役割について理解するとともに出題傾向を把握する。		
第7週	政治分野の小テストを実施する。		
第8週	資本主義経済の仕組みについて理解するとともに出題傾向を把握する。		
第9週	株式会社の仕組みや中小企業の特徴について理解するとともに出題傾向を把握する。		
第10週	金融政策・財政政策の内容について理解するとともに出題傾向を把握する。		
第11週	円高・円安が及ぼす影響について理解するとともに出題傾向を把握する。		
第12週	EUやASEANをはじめとする地域的経済統合の動きについて理解するとともに出題傾向を把握する。		
第13週	経済分野の小テストを行う。		
第14週	過去問を中心とした演習を行う。		
第15週	期末試験を受ける。		
第16週	過去問を中心とした演習を行う。		
成績評価の方法	期末試験70%、小テスト20%、授業参加度10%として100点満点で評価する。		
学生へのメッセージ	①日々起きている政治や経済に関するニュースに関心を持ちましょう。 ②問題を解いた後には、間違いなおしをする習慣をつけましょう。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	体育	担当教員 (実務の経験)	鈴木 絵美 有 ・ 無
対象学科・学年 コース	行政事務学科 警察官・消防官・自衛官コース	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	実技	単位数・時間	2単位・32時間
授業の概要	施設・機器を活用し基礎的な運動能力の向上及び公安系(警察官・消防官)の体力試験に向けての専門的なトレーニングを行う。		
到達目標	現状の個々の体力を把握し、計画的に体力の維持・増強を図る。		
使用教材等	ゴールドジム(イオンタウン郡山内)でのトレーニング		
授業計画			
第1週	施設内(ゴールドジム)で、機器の説明、効果等の説明を受ける。		
第2週	体力維持・増強(有酸素運動・無酸素運動)を図る		
第3週	体力維持・増強(有酸素運動・無酸素運動)を図る		
第4週	体力維持・増強(有酸素運動・無酸素運動)を図る		
第5週	体力維持・増強(有酸素運動・無酸素運動)を図る		
第6週	体力維持・増強(有酸素運動・無酸素運動)を図る		
第7週	体力維持・増強(有酸素運動・無酸素運動)を図る		
第8週	体力維持・増強(有酸素運動・無酸素運動)を図る		
第9週	体力維持・増強(有酸素運動・無酸素運動)を図る		
第10週	体力維持・増強(有酸素運動・無酸素運動)を図る		
第11週	体力維持・増強(有酸素運動・無酸素運動)を図る		
第12週	体力維持・増強(有酸素運動・無酸素運動)を図る		
第13週	体力維持・増強(有酸素運動・無酸素運動)を図る		
第14週	体力維持・増強(有酸素運動・無酸素運動)を図る		
第15週	体力維持・増強(有酸素運動・無酸素運動)を図る		
第16週	体力維持・増強(有酸素運動・無酸素運動)を図る		
成績評価 の方法	授業参加度(100%)		
学生への メッセージ	体力テストに備え、目標達成に向けて更なる体力向上を目指しましょう。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	地理	担当教員 (実務の経験)	中田 正則 有・無
対象学科・学年 コース	行政事務学科 コース共通	学期・区分 授業週数	前期・必修 16週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	2単位・32時間
授業の概要	公務員採用試験一般教養科目「地理」について学習する。		
到達目標	世界の農牧業 鉱工業 気候 地形について理解する。		
使用教材等	公務員合格セミナー(実教出版) keyワーク(帝国)		
授業計画			
第1週	ガイダンス 授業の進め方について理解する。白地図を使用して世界の大まかな姿をつかむ。		
第2週	世界の農業の立地条件について理解する。移動式焼畑農業 原始的定着農業 遊牧		
第3週	世界の農業の立地条件について理解する。オアシス農業 アジア式畑作農業 アジア式稲作農業		
第4週	中国 インド アフリカの農業について理解する。		
第5週	世界の農業の立地条件について理解する。酪農 混合農業 地中海式農業 園芸農業 ヨーロッパの農業		
第6週	世界の農業の立地条件について理解する。企業的農牧業		
第7週	アメリカの農業 オーストラリアの農業について理解する。		
第8週	世界の農業の立地条件について理解する。集团的農牧業		
第9週	エネルギー資源の分布について理解する。石炭 原油 天然ガス		
第10週	鉱産資源の分布について理解する。鉄鉱石 銅鉱石 ボーキサイト		
第11週	ヨーロッパの工業 ロシアの工業について理解する。		
第12週	アジアの工業について理解する。		
第13週	アメリカの工業について理解する。		
第14週	ケッペンの気候区分について理解する。		
第15週	ハイサーグラフの読み取り方について理解する。		
第16週	世界の地形について理解する。		
成績評価の方法	学期末試験(50%) 授業中の課題・レポート・発表等(45%) 授業参加度(5%)		
学生へのメッセージ	毎日、新聞を読んだりニュースを見たりする習慣を付けましょう。また、発表する能力を身につけましょう。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	日本史	担当教員	星 勉
		(実務の経験)	有 ・ (無)
対象学科・学年 コース	行政事務学科 コース共通	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義・演習・解説	単位数・時間	2単位・32時間
授業の概要	人文科学演習ブック等の公務員試験過去問を解き、講義・演習・解説をする。		
到達目標	初級公務員試験に有用な日本史知識を習得する。		
使用教材等	・ 公務員合格セミナー人文科学テキスト・確認ワーク・演習ブック(実務教育出版) ・ 日本史図表(第一学習社)		
授業計画			
第1週	古代(飛鳥・奈良・平安時代)の過去問演習①		
第2週	古代(飛鳥・奈良・平安時代)の過去問演習②		
第3週	中世(鎌倉・室町時代)の過去問演習①		
第4週	中世(鎌倉・室町時代)の過去問演習②		
第5週	中世・近世(戦国期・織豊時代)の過去問演習		
第6週	近世(江戸時代)の過去問演習①		
第7週	近世(江戸時代)の過去問演習②		
第8週	近代(明治時代)の過去問演習①		
第9週	近代(明治時代)の過去問演習②		
第10週	近代(大正・昭和前期)の過去問演習①		
第11週	近代(大正・昭和前期)の過去問演習②		
第12週	現代(第二次世界大戦後の諸改革)の過去問演習①		
第13週	現代(第二次世界大戦後の諸改革)の過去問演習②		
第14週	現代(第二次世界大戦後の諸改革)の過去問演習③		
第15週	テーマ史の過去問演習		
第16週	最新過去問演習		
成績評価 の方法	期末試験70%、小テスト20%、授業参加度10%として100点満点で評価する。		
学生への メッセージ	テキスト・確認ワーク・演習ブック及び日本史図表をシステムティックに活用すること(活用指導あり)。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	判断推理	担当教員	谷川 知子
		(実務の経験)	有・無
対象学科・学年 コース	行政事務学科 コース共通	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	6単位・96時間
授業の概要	テーマごとの重要ポイントと解法を学び、判断推理を解くための基礎力を養成する。問題を解き、解法について討論をしお互いに教え合うことで、論理的思考力・条件処理能力を養成する。		
到達目標	公務員試験における判断推理の筆記試験の解答力を高めることを目的とする。判断推理の基礎となるポイントを理解し、問題を繰り返し解くことで問題のパターンに慣れ、より早く正確に解けるようになる。		
使用教材等	ケイセンオリジナル教材 公務員合格セミナー初級本科一般知能テキスト(実務教育出版) 公務員合格セミナー初級本科一般知能演習ブック(実務教育出版)		
授業計画			
第1週	命題 テキストの問題で解法を確認し、演習ブックや実践編の類似問題で解法を身につける。		
第2週	集合 テキストの問題で解法を確認し、演習ブックや実践編の類似問題で解法を身につける。		
第3週	暗号 テキストの問題で解法を確認し、演習ブックや実践編の類似問題で解法を身につける。		
第4週	対応関係 テキストの問題で解法を確認し、演習ブックや実践編の類似問題で解法を身につける。		
第5週	順序関係 テキストの問題で解法を確認し、演習ブックや実践編の類似問題で解法を身につける。		
第6週	位置関係、方位と位置 テキストの問題で解法を確認し、演習ブックや実践編の類似問題で解法を身につける。		
第7週	試合の勝敗 テキストの問題で解法を確認し、演習ブックや実践編の類似問題で解法を身につける。		
第8週	発言推理 テキストの問題で解法を確認し、演習ブックや実践編の類似問題で解法を身につける。		
第9週	数量関係 テキストの問題で解法を確認し、演習ブックや実践編の類似問題で解法を身につける。		
第10週	操作の手順 テキストの問題で解法を確認し、演習ブックや実践編の類似問題で解法を身につける。		
第11週	規則性 テキストの問題で解法を確認し、演習ブックや実践編の類似問題で解法を身につける。		
第12週	平面構成、平面分割、展開図 テキストの問題で解法を確認し、演習ブックや実践編の類似問題で解法を身につける。		
第13週	移動・回転・軌跡 テキストの問題で解法を確認し、演習ブックや実践編の類似問題で解法を身につける。		
第14週	折り紙と折り合わせ、位相と経路 テキストの問題で解法を確認し、演習ブックや実践編の類似問題で解法を身につける。		
第15週	立体構成、正多面体 テキストの問題で解法を確認し、演習ブックや実践編の類似問題で解法を身につける。		
第16週	立体の切断・回転 テキストの問題で解法を確認し、演習ブックや実践編の類似問題で解法を身につける。		
成績評価の方法	期末テスト50%、小テスト40%、授業参加度10%		
学生へのメッセージ	理解できるまで何度も繰り返し問題を解くことが大切です。授業で学習した内容は忘れないうちに復習しましょう。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	文章理解	担当教員	國分 進
		(実務の経験)	有・無
対象学科・学年 コース	行政事務学科 コース共通	学期・区分	前期・必修
		授業週数	16週
授業の形式	講義、演習	単位数・時間	4単位・64時間
授業の概要	現代評論文のキーワードや論理の構造を理解しながら、文章を読み解く力を身につける。また、漢字・語句の語彙力を高めるとともに、古典の知識、文学史の基礎力を身につける。公務員模試の作文練習にあわせて、題材や構成などの文章作成力を身につける。		
到達目標	公務員試験(文章理解・国語・文学芸術分野)の対策を目的として学習する。公務員試験の出題分野を網羅するため、基礎学力から発展して、応用力・実践力を身につける。また、文章を書く能力も身につける。		
使用教材等	公務員合格セミナー初級本科 一般知識(テキスト、演習ブック)、 人文科学(テキスト、確認ワーク、演習ブック)、 カラー版新国語便覧[第一学習社] 言葉と漢字のレッスン[日栄社]		
授業計画			
第1週	・授業のガイダンス(テキスト、内容、進め方) ・一般知能テキスト(主旨、要旨)		
第2週	・国語便覧確認テスト(書き誤り) ・文学史①上代文学 ・一般知能テキスト(内容把握、部分解釈)		
第3週	・国語便覧確認テスト(同音異義) ・文学史②平安和歌集 ・一般知能テキスト(空欄補充)		
第4週	・国語便覧確認テスト(同訓異字) ・文学史③中古物語 ・一般知能テキスト(文章整序)		
第5週	・国語便覧確認テスト(難読語 音読み) ・文学史④源氏物語 ・一般知能テキスト(古文、漢文)		
第6週	・国語便覧確認テスト(難読語 訓読み) ・文学史⑤日記、随筆 ・一般知能演習ブック(主旨、要旨)		
第7週	・国語便覧確認テスト(難読語 古典) ・文学史⑥中世和歌集 ・一般知能演習ブック(主旨、要旨)		
第8週	・国語便覧確認テスト(対義語) ・文学史⑦歴史、軍記物語 ・一般知能演習ブック(内容把握)		
第9週	・国語便覧確認テスト(ことわざ) ・文学史⑧中世随筆 ・一般知能演習ブック(内容把握)		
第10週	・国語便覧確認テスト(慣用句) ・文学史⑨江戸文学 ・一般知能演習ブック(内容把握)		
第11週	・国語便覧確認テスト(故事成語) ・文学史⑩江戸戯作 ・一般知能演習ブック(空欄補充)		
第12週	・国語便覧確認テスト(故事成語) ・文学史⑪俳諧 ・一般知能演習ブック(文章整序)		
第13週	・国語便覧確認テスト(四字熟語) ・文学史⑫明治期 ・一般知能テキスト(古文、漢文)		
第14週	・国語便覧確認テスト(四字熟語) ・文学史⑬大正期 ・実践問題 過去問演習		
第15週	・国語便覧確認テスト(四字熟語) ・文学史⑭昭和期 ・実践問題 過去問演習		
第16週	・国語便覧確認テスト(四字熟語) ・文学史⑮戦後文学 ・実践問題 過去問演習		
成績評価 の方法	学期末試験(80%) 授業中の小テスト・課題等(20%)		
学生への メッセージ	文学史のプリントを、新国語便覧および人文テキストを参考にして、進めておいてください。公務員試験の過去問題についても教室の問題集を使って各自学習を進めましょう。		
実務経験			